

雲の上のまち



た報

けすばら

祝 成人おめでとう



令和3年 栲原町成人式(令和3年1月3日)

令和3年 成人式 <P2>

考えよう!栲原町の公共交通 <P4>

ツリークライミング研修会 <P6>

町のごみ最終処分方法が変わります! <P10>

etc...

2021
〈令和3年〉
No.752
2月号

●世帯数/1,776 (12月末)
1,772 (1月末)
●人口/3,404 (12月末)
3,394 (1月末)
○出生… 2 ○死亡… 8
○転入等… 3 ○転出等… 7

令和3年 祝 成人式

1月3日(日)、ゆすはら・夢・未来館で成人式を行いました。

平成12年4月2日から平成13年4月1日に生まれた30名が成人を迎え、うち11名が出席しました。

正午から行われた式典では、矢野教育長より新成人一人ひとりの名前が読み上げられた後、吉田町長の式辞、来賓を代表して土釜議会議長から祝辞が贈られました。その後、吉田町長から新成人代表の大野真那さんに、記念品の印鑑付きボールペンが手渡されました。

次に、新成人を代表して中越健人さんが、「こうして無事に成人を迎えることができたのも、たくさんさんの愛情を注いで育ててくれた家族やお世話になった先生方、幼いころから温かく見守っていただいた地域の皆様のお陰であること深く感謝しております。一人ひとりが自分の行動に責任を持ち社会の一員として常に前向きに歩みを進めていきます」と謝辞を述べました。また、小学校から高校卒業までの恩師の方々からメッセージ

ジをいただきました。

新成人全員から、二十歳を迎えるの思いやふるさと梶原への思い、将来の夢などを「二十歳のメッセージ」としてお話いただきました。

○大野 真那

県内の大学で保育士・幼稚園教諭になるための勉強をしている。春からは保育所で働くことが決まっているの、一生懸命がんばりたい。

○岡本 鷹司

県内の工業系の会社で働いている。体調を崩さず、今の会社で何十年も働けるようがんばりたい。

○中越 式千弥

兵庫県の専門学校に通っている。今までいろんな人に支えてきてもらったので、今後は自分がたくさんの人を支えられるよう努力したい。

○中越 健人

陸上自衛隊で勤務している。幼いころからの夢だった消防士に合格したので、4月からは消防学校で教育を受け、立派な消防士になれるようがんばりたい。

○中越 唯葉

香川県の大学で演劇の勉強をしている。昨年はなかなか活動ができず悔しい思いもしたが、公演を成功させるために模索したことはこれからの人生で役に立つと思う。これまでに皆さんが支えてくださったことや多くの方との縁、恩を忘れずにがんばりたい。

○長山 真子

県内の大学に通っている。卒業後は自分なりに目標を決めてそれに向かってがんばっていききたい。また、今まで支えてもらった人に恩返しができるようがんばりたい。

○藤原 斗哉

陸上自衛隊で勤務している。長年の夢だった自衛隊に入れたので、次はレンジャーになってみたい。

○前田 紫乃

兵庫県の大学に通っている。自分の責任を取れる範囲で学生を楽しみながら、自分の好きなデザインや絵を描くことを仕事にできるよう、経験を積んでいきたい。

○三野(中岡) 瞳

昨年結婚し、子どもが生まれたので、これからも子育てをがんばっていききたい。

○明神 まい

大阪府の専門学校に通っている。4月からは社会人になるので、責任をもって自分のしたいことや楽しいことをしながらがんばりたい。

○山下 優月

県内の大学でプログラマーになるための勉強をしている。さらに勉強を重ねて、立派なプログラマーになれるようがんばりたい。

新成人のみなさん、おめでとうございました。コロナ禍で不安定な情勢下ではありますが、成人として、責任と自覚をもち、自分の夢に向かって焦らずに一步一步、進んでいってください。

生涯学習課



謝辞を述べる中越健人さん



記念品を受け取る大野真那さん



二十歳のメッセージの様子



恩師のメッセージ

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓の縮小、講演や軽食の提供を行わないなど、例年とは異なる内容で成人式を開催しました。関係者の皆さまにおかれましては、ご理解ご配慮いただきありがとうございました。（※ 成人式に出席できなかった新成人の皆さまへ、後日、恩師の先生からお預かりした手紙や、記念品等を郵送いたしました。）

んを持つ保護者の方4名が参加しました。
ファーストスプーンとは、生まれてきた子どもが一生食べる物に困らないようにという願いを込めて贈られるものとされています。今回は小さい頃から梶原町の森林に親しみをもってもらうということから、梶原の木を使って製作しました。
用意した木は、地域おこし協力隊が梶原の子どもたちも森のようちえんとして親しんでいる九十九曲峠町有林より伐採したものです。
木育インストラクターの平子真



昨年12月14日（月）、高知県森と緑の会主催によるファーストスプーン木育講座が雲の上の図書館において開催されました。当日は町内の1歳児以下のお子さ

ファーストスプーン木育講座開催



治氏から木育の大切さを学んだ後、参加者は用意された11種類の樹木の中から子ども達の誕生日にちなんだ樹木を選びました。そして指導を受けながら6種類のやすりを使って仕上げていきます。子ども達の健やかな成長を願いながら時間をかけて丁寧に仕上げたスプーンは、特別な1本となりました。「これでたくさん食べてくれたらいいな。」という参加者の声がかれ和やかな時間となりました。

森林の文化創造推進課



考えよう！ 梶原町の公共交通



「5年後10年後もご自身で運転できますか？」
「病院や買い物に行くための移動手段はありますか？」

今、地方の公共交通は利用者が減少傾向にあり、採算の悪化から路線が縮小し続けています。地域公共交通（バスやタクシー）があることにより一人ひとりが自立した生活を送り、そして、まちに人を呼び込むことができ、賑わいや活気へとつながります。5年後、10年後、地域の公共交通を維持するために、今からできることをしっかりと考えていく必要があります。

梶原町では、昨年8月に地域公共交通会議を設置し、これまで2回の会議を開催しました。

10月に開催された第1回目の会議では、会議設置の趣旨や、梶原町の移動手段の現況や課題等について話し合い、公共交通利用者や関係者への聞き取り調査等を進めていきながら、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスが持続的に提供されるよう地域公共交通計画と生活交通網再編計画を作成することを確認しました。

今年1月に開催された第2回目の会議では、各区のいきいきふれあい広場で伺ったご意見や学生アンケート調査の結果、町内の交通事業者や関係者への聞き取り調査の結果が報告され、本町の公共交通や移動手段について、次のような課題が上げられました。



公共交通の課題

○公共交通空白地区の存在

路線バスが家の近くを運行していなかったり、運行回数が少ない、スクール便に合わせた時間設定など、移動ニーズと整合していなかったり、公共交通空白地区が存在している。

○わかりづらい運行情報

町内の公共交通網の運行に関する情報が一元化されておらず、バス停にも時刻表のみで路線図が掲示されていない。

また、スクールバス設定便が中心となる運行で、時刻表に学校休日運休などの記号標記があり、わかりづらい。

○通学移動の集中

梶原学園の登校時間に、スクールバス設定便と保護者の送迎車が

集中して乗り入れており、狭隘な道路上での乗降などによる交通事故発生危険性がある。

○自動車運転免許証の返納に対する理解不足

自動車に乗れるうちから公共交通の利用に慣れておく意識付けと、運転免許証の返納について正しく理解する必要がある。

また、返納に伴う移動手段確保の制約を補完する公共交通ネットワークの整備が必要である。

○路線バスに関する無関心

自家用車を利用する人は路線バスに対する認識が低く、一方的に「不便利な乗り物」と決めつけている意見がある。「ICカードですか」や「高知高陵バスロケ」など利便性を向上する取り組みについて認知を高める必要がある。

○交通安全の確保

交通量の多い国道では、バスに乗り降りの際に国道を横断しなければならず、交通事故防止のためにもドライバーへの注意喚起が必要である。

また、バス走行中の席移動など危険行為についての認識が低い。



目指す将来像

これらの課題を解決し、町民の皆さんが安心して住み慣れた地域

での生活を続けられるよう今後の方針を検討しています。

わかりやすく、使い勝手の良い移動手段として、町内外をつなぐ公共交通ネットワークを再構築し、移動ニーズとの整合を目指します。

また、バスの乗り方教室や、公共交通を利用してのおでかけイベントを実施し、公共交通の利用促進を目指します。



公共交通ネットワーク再構築方針

【①地域間幹線系統】

梶原町と須崎市をつなぐ便

【②地域内幹線系統】

町内の地区拠点（越知面、四万川、松原の各拠点）と町内中心部をつなぐ便

【③フィーダー系統】

地区拠点において各集落まで運行する便

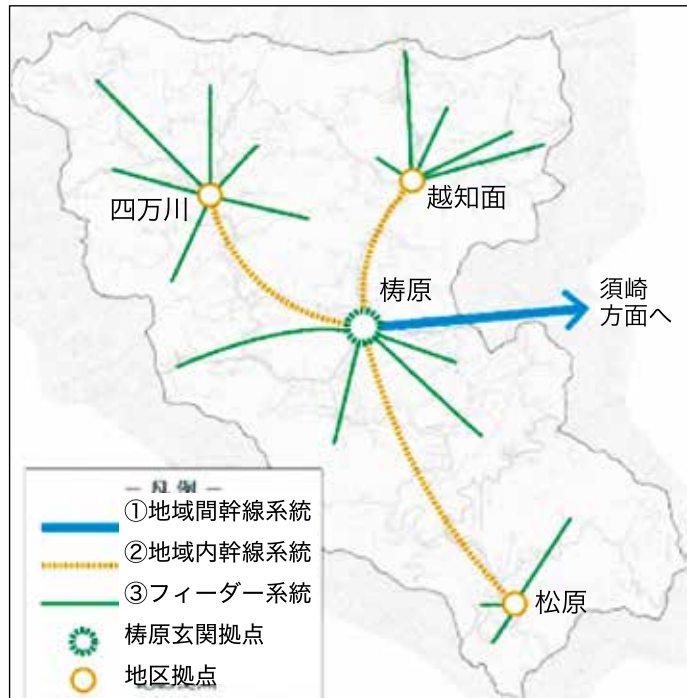
①～③のそれぞれが運行路線及び運行ダイヤで接続して公共交通ネットワークを構築する。

実現に向けて会議では、③のフィーダー系統の運行体制について、今後、町内の交通事業者や集落活動センター、すでに初瀬区、松原区で公共交通空白地有償運送を実施しているNPO法人絆の皆さんとで協議していきたいと考えています。

梶原町地域公共交通会議

- 会長 梶原町長 吉田 尚人
- 委員
- 高知高陵交通(株) 代表取締役 戸田 政克
 - くるめハイヤー 来米 彩
 - 四万川交通ハイヤー 長山 亀一郎
 - ゆすはら介護タクシー 上川 渉
 - NPO法人絆 理事長 矢野 豪佑
 - 越知面区 区長 上田 末喜
 - 四万川区 区長 空岡 則明
 - 東山区 区長 氏原 隼雄
 - 西山区 区長 西村 建雄
 - 初瀬区 区長 矢野 敬明
 - 松原区 区長 松山 榮喜

- 四国運輸局高知運輸支局 山本 圭
- 四国運輸局高知運輸支局 首席運輸企画専門官 出海 博史
- 四国運輸局高知運輸支局 首席運輸企画専門官 岡田 哲也
- 高知県交通運輸政策課 課長 長山 和幸
- 梶原町商工会 会長 中越 健三
- 梶原病院 事務長 河野 正志
- 須崎土木事務所維持管理課課長 野口 裕也
- 須崎警察署交通課 課長 西内 哲也
- 高知工科大学 准教授 手嶋 一了
- オプザバー 交通企画課 課長
- 四国運輸局交通政策部
- 事務局長
- 総務課総務危機管理係



意見交換会の開催

皆さんがご利用しやすい公共交通となるような計画を考えており、今後、具体例を示しながらのワークショップや意見交換会を実施いたします。日程等の詳細が決まりましたら、行政放送や回覧等でお知らせします。

協働の森づくり事業
豊かな森林を目指して間伐

一般社団法人四国クリエイト協会からの助成金を活用して、川井及び井の谷地区において間伐を行いました。間伐された森林は、林内に太陽の光が差し込み、明るくなり、多様な森へと成長していきます。また、搬出された間伐材については、建築用材等として利用されることとなります。このような本町の森づくりへの支援は、四国クリエイト協会、梶原町森林組合、高知県及び本町とのパートナーズ協定による「協働の森づくり事業」を通じて実施しています。

なお、四国クリエイト協会は、今年度、協定締結から10年の節目となり、高知県及び本町への継続的な森づくり支援に対して、高知県知事から表彰されました。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が社会問題となっている中、四国クリエイト協会におかれましては、本町の森づくりの推進のため、これまでと変わらぬご支援をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

森林の文化創造推進課



△効率的に列状間伐を実施(井の谷) △間伐後、光が差し込み多様な森林へ(川井地区) △造材(上段)、はい積(下段) △伐倒(上段)、集材(下段)

**自然体験型観光の推進を目指して
ツリークライミング研修会開催、森林の魅力を再発見!!**

昨年10月から12月にかけて、太郎川公園において、ツリークライミング研修会を開催しました。ツリークライミングは、専用のロープと安全具を使って木に登り、樹木や森との一体感を味わう自然体験活動です。発祥地はアメリカですが、樹上から森を眺めるといった今までにない体験ができることから、日本でも広がりを見せてい

ます。本研修には、HARDWOOD株式会社（東京都江東区所在）から講師を招き、町内から10名が参加しました。ロープの結び方や木に登る方法等、基本的な技術から、日本の林業にも応用できる高度なクライミング技術まで、講師の丁寧な指導を受けました。また、ツリークライミング体験会等のイベ

ントづくりの手順やポイント、地域活性化に向けた事業展開の企画力の向上にも励みました。参加者からは、「ロープを使って木に登ることが想像以上に楽しかった。友達や家族にも体験させたい」、「安全に徹底したロープ技術だと実感した。林業の仕事に取り入れたい」等、新しい自然体験に感動したり、習得した技術を活用していききたいという前向きな意見を多数受けました。また、研修中には、参加者同士が教え合う場面も多く見られ、町民の交流の場

にもなり、大変充実した研修会となりました。本町には豊かな森林があります。森林は木材生産の場のみではなく、心身の休養や住民の憩いの場でもあり、ツリークライミングはその価値を体感できる活動です。今後、ツリークライミング体験会等を開催し、町民の皆さんに森林のもつ多様な恵みを実感できる機会を提供していきたいと考えていますので、ぜひ森林にお越しください。
**梶原町商工会
森林の文化創造推進課**



ツリークライミング実践



ロープの結び方を習得



講師によるツリークライミングのデモにより研修開始



多様なロープワークを講師が実演



救援技術もしっかり学ぶ



ツリークライミングを通して森林の魅力を再発見

梶原学園だより

【第71回高新中学駅伝競走大会】男子9位

昨年11月15日（日）、春野運動公園で高新中学駅伝競走大会が行われました。この大会は、チーム数を例年の半分に減らし、各地区（5地区）の3位までが代表で参加しました。

今回は、地区代表の集まりでもありレベルが高く、3位以下



男子駅伝チーム

は順位が区間ごとに入れかわる熱戦でした。

結果、15校中9位の成績を残すことができました。

応援していただいた保護者の皆様ありがとうございました。

【第31回高専幡多地区中学校バスケットボール大会】女子3位・男女県大会出場

昨年11月21日（土）、22日（日）、土佐西南大規模公園体育館で高専・幡多地区中学校バスケットボール大会が行われました。

男子は、1回戦で清水中学校に47対43の接戦で勝利し、12月12日（土）から行われる県新人大会への出場権を獲得しました。

2回戦の下田中学校には、相手のスピードに圧倒され大差で負けてしまいました。

女子は、1回戦で高岡中学校に73対60で勝ち、公式戦初勝利を挙げることができました。2回戦の清水中学校にも93対23で勝利し、準決勝に進出しました。



女子バスケットボール部 3位入賞

準決勝では、中村中学校に49対51のわずか1ゴール差で負け、3位という成績でした。
また、女子優秀選手に廣瀬美羽さんが選ばれました。

梶原学園研究発表会

昨年11月27日（金）、梶原学園研究発表会が行われました。

小学1年生の研究授業があり、跳び箱を使った運動遊びを参観してもらいました。授業では、6か所に分かれて、着地の仕方を工夫して取り組むことができました。



梶原学園研究発表会

研究協議では、土佐町立土佐町小中学校の谷内宣夫校長先生に研究授業の助言をして頂きました。梶原学園の本年度の研究の取り組みについて小学校研究主任の西村太郎先生が発表しました。最後に、「GIGAスクール時代における義務教育課程でのICT活用実践について」という演題で、学校法人立命館附属校教育研究・研修センター長の友草司先生に講演をして頂きました。今後の梶原学園の取り組みに活かせる研究発表会になりました。

一部の記事はホームページでも見ることができます。
<http://www.yusunoharagakuen.jp/>





栲原こども園だより



コマ回し会



いろいろなコマが回せるようになったよ



綱渡りができるようになったよ

1月29日(金)は幼児組がホールでコマ回し会を行いました。お正月明けからそれぞれ取り組んだ成果を見せ合いました。

ぱんだ組は初めてのコマ回し会でしたが、手の平や指先を使って回す物などいろいろな種類のコマを自分で選んで披露しました。きりん組は少しレベルアップし、投げコマに挑戦しました。最初はヒモを巻くことが難しく「できん」「どうやってやるか?」と言っていた子も、先生や友達のやり方を見たり聞いたりで少ずつ挑戦することによって少しずつコツをつかみ、上手くヒモが巻けるようになってきました。ぞう組は台乗せや綱渡



見てもううことや応援してもらったり拍手してもらったりすること、自信にながったと思います。コマ回しに取り組む中で、挑戦する気持ちや諦めずにコツコツと取り組む気持ちが育っています。

「おにはーそと!」
「ふくはーうち!」



2月2日(火)は、節分でした。こども園では、各クラスで作ったオリジナルのお面を被り、ホールに集まって、豆まきや柊を飾る由来の話を幼児教育アドバイザーの日向先生から聞いたり、豆まきの歌を歌ったりしました。

部屋に帰り、豆まきの準備をしていると、乳児組、幼児組の園庭に2匹ずつ鬼達が登

り、コマのジャンプなどの技にも挑戦しました。さすがぞう組さんと思わせるような工夫や腕前を披露し、コマ回し会を盛り上げてくれました。

先生や友達に



かわいい子どもたちオニの集合

場し、乳児組では、豆を投げたる間もなく出てきた鬼に驚き先生の後ろに隠れたり、壁にぺたっとくっついていたりして泣いていました。

幼児組では、涙を流す子どももいましたが、何度も豆を投げて退治しようとしていました。自分の中にいる泣き虫鬼や怒りん坊鬼なども退治できたかな?

鬼退治をした後には、各クラスに福の神さんが4人登場しお土産を配っていただきました。

今回、鬼役、福の神役、お土産、まく豆を準備してくださったのは商工会の皆様でした。毎年お餅つきで



鬼さんと福の神さん

<http://www.yusuharakodomo.jp/>

お世話になっていている商工会の方々ですが、今年はお餅つきが中止となったので、節分に協力してくださいました。ありがとうございました。

また、5歳以下の子どもは誤嚥・誤飲の可能性もあるので、園では豆を食べずまくだけにしました。

今年もこども園のみんなが健康に過ごせますように……。

一部の記事はホームページでも見ることができます。



豊かな暮らしの道しるべ

お問い合わせ 0889-65-1900



雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL

求ム！町に関する本や地区の伝統行事に関する資料

寄贈していただいた昭和初期頃の貴重な写真（館内展示中）



あの頃の町。ゆすはらの本・写真

みなさんのお家に眠っている資料はありませんか？図書館では、町に関する本や資料を集めて整理・保存をしている中で、町にお住まいの方が書かれた本や栲原の昔の町並みのお写真などを寄贈していただくなどしております。

体験談を伺いながら拝見すると、当時の町の様子が分かる貴重なものが多数あります。

他にも、みなさんがお住まいの地区独自の行事を写真や資料として残したい、というご要望があれば、ぜひ図書館までご連絡ください。

スタッフ一押し！今月の一冊

『ひとりの夜にあなたと話したい10のこと』

著：カシワイ

「同じ空を見ているかもしれないあなたとこんなことを話してみたいのです」
孤独な夜に寄り添うようなやさしい絵と言葉たちが、あなたにそっとエールを送る大人の絵本。



*貸し出し中の際はご了承ください。

館内あれこれ

新しい形を模索しながら

館内では10月より感染症対策を行いながら、器楽演奏のみの音楽イベントや少人数予約制でのワークショップを行なっております。今後も、安全を第一に心豊かにすごしていただけるよう努めてまいります。

3月 / 弥生

花の色は うつりにけりな いたづらに

わが身世にふる ながめせしまに / 小野小町

月	火	水	木	金	土	日
1	2 休館日	3	4	5	6	7
8	9 休館日	10	11	12	13	14
15	16 休館日	17	18	19	20	21
22	23 休館日	24	25	26 休館日	27	28
29	30 休館日	31				

～ご来館時の3つのお願い～

- ・マスクの着用（2才～）
 - ・手指の消毒
 - ・2時間未満の滞在
- ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「厚生労働大臣表彰」
「高知県社会福祉大会会長感謝状」受賞

梶原町民生委員児童委員協議会
会長を務める西村正義氏が、この
ほど厚生労働大臣表彰を受賞され
ました。

西村正義会長は、平成10年12月
に梶原町民生委員児童委員を委嘱さ
れ現在まで長きにわたり地域福祉の
向上及び発展に尽力されていること
が評価され同表彰に至りました。

また、民生委員児童委員副会長
を務める川上芳郎氏が、高知県社
会福祉大会会長感謝状を受賞され
ました。

川上芳郎副会長は、地域福祉の
推進に貢献され、地域のために広
く活動された功績が認められたも
のです。

受賞された2名は、10年以上の
長きにわたり、民生委員児童委員



受賞された2名(左)川上芳郎氏
(右)西村正義氏

として高齢者、児童、障がい者等
の見守りや支援を必要とする方々
の相談相手となり、安心して暮ら
すことができるよう地域福祉向上
のために積極的に活動していただ
いております。

このたびの受賞、誠におめでと
うございます。 保健福祉課

税に関する高校生作文
「須崎税務署長賞」受賞

将来を担う児童・生徒の皆さん
に税金への関心及び理解を深めて
もらうため、租税教育の一環とし
て、税に関するテーマとした作品
を募集し、梶原高校1年生の矢野
ひかるさんが「須崎税務署長賞」
を受賞しました。

矢野さんは、「高校生になった
今、税について考えてみて思うこ
と」をテーマに、税がどのような
ものなのか、税金の重要性など、
よく考えてみることで税について
理解することができ、これから税
と付き合っていくかなければなら
ないことへの自覚を持ち学ぼうとす
る姿勢を示すことが大事だとい
う思いを書いています。

矢野さん、受賞おめでとうござ
います。今後とも、活躍を期待し
ております。

総務課

町のごみ最終処分方法が
変わります！

（可燃ごみ・汲み取りし尿・合併浄化槽汚泥）

令和3年度から、梶原町は、中
土佐町にある高幡東部清掃組合に
加入し、町のごみ・汲み取りし尿・
合併浄化槽汚泥は高幡東部清掃組
合で処理することになります。

○高幡東部清掃組合とは

高幡東部清掃組合は、須崎市・
中土佐町・津野町で構成される一
部事務組合で、可燃ごみや汲み取
りし尿・合併浄化槽汚泥の処理を
行っています。（それぞれ固形燃
料化・堆肥化されています。）

○最終処分方法の変更点について

◎令和3年2月現在の処分方法
これまで梶原町では、可燃ご
みは津野町高野にあるクリー
ンセンター四十で固形燃料
化、汲み取りし尿は土づくりセ
ンターで堆肥化され、合併浄化
槽汚泥は梶原浄化センターで
脱水処理を行った後、須崎市に
ある大阪住友セメントで使用
されてきました。

◎高幡東部清掃組合受入開始後

可燃ごみは、これまで通りの
収集を行った後、高幡東部清掃
組合に運ばれ、固形燃料化され
ます。

汲み取りし尿・合併浄化槽汚

泥については、汲み取り後、土
づくりセンター及び梶原浄化セ
ンターに運ばれ、その後高幡東
部清掃組合で堆肥化されます。

○移行開始時期について

・汲み取りし尿、合併浄化槽汚泥
令和3年4月から

・可燃ごみ
同年10月から

○今後のごみの出し方・分別について

収集する曜日や場所に変更はあ
りませんが、高幡東部清掃組合へ
の加入に伴って、可燃ごみの分別
方法が一部変更となる可能性があ
りますので、決まり次第お知らせ
いたします。

※なお、汲み取りし尿・合併浄化槽
汚泥の収集方法や料金についてはこれ
までと変わりありませんので、汲み取
り業者にご依頼ください。

環境整備課



高幡東部清掃組合(中土佐町) 外観

こころの声に耳を傾けていますか 3月は自殺対策強化月間



こころの健康と体の健康は密接にからみあっています。私たちは職場や家庭での人間関係等、日常生活の中で絶えず様々な刺激を受けています。それらによって生じたこころのゆがみをストレスととらえます。こころや体、行動が「いつもと違うな」と感じたときにはこころがストレス等に耐え切れず、体調を崩しているのかもしれない。

日本では年間に2万人に及ぶ自殺者がいます。悩みや苦しみをひとりで抱え込み、誰にも相談できずに自ら命を絶つということが私たちのまわりで起きています。しかし、自殺は防ぐことのできる死と言われています。自殺対策基本法では3月を自殺対策強化月間と定め、相談事業や啓発活動を実施しています。梶原町でも、誰も自殺に追い込まれることのない町の実現を目指して取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、仕事や日常生活でいつも以上にストレスや不安を感じている方も少なくないと思います。「これくらいの不調なら我慢しなくちゃ」と思わ

ないで、こころの声に耳を傾けてみてください。

〇ストレスによるこころや体の変化

こころ

- ・憂鬱な気分が続いている
- ・気分が落ち込んだまま戻らない
- ・ものごと集中できない
- ・なんだか不安で落ち着かない
- ・わけもなく涙が出てくる
- ・理由もなくイライラしてしまう
- ・今まで関心があったことに興味を持てなくなった
- ・何もやる気が起らない など

体

- ・耳鳴りやめまい、肩こりがある
- ・頭痛や吐き気がする
- ・夜眠れない、夜中に何度も目が覚める
- ・食欲がわかない、または食べ過ぎてしまう
- ・いつも体がだるい
- ・胸がドキドキする など

行動

- ・人に会いたくない
- ・ひとりでいる時間が多くなった
- ・遅刻、早退、欠席が増えた

- ・運動や外出が面倒くさい
- ・服装や髪型などに気を使わなくなった
- ・忘れ物が増えた
- ・ネガティブな発言ばかりしている
- ・簡単なミスを繰り返してしまう など

これらの変化はあくまでも目安です。おかしいな？当てはまるかな？と思ったら専門機関や病院受診など、まずは誰かに相談してみてください。最近ではメール等でも相談できる場所が増えていきます。

こころの変化は自分ではなかなか気づくことができませぬ。「ちょっと疲れているだけ」と思い込み、対応が遅れることで悪化してしまうことがあるので、周囲の人の気づきも大切です。周りの人が悩んでいる様子や普段と違うと感じることがあるときには、まずは声をかけてみてください。あなたの行動で守れる命があります。

〇ストレスと上手に付き合うために

自分がストレスと感じていなくても気づかないうちにこころや体に負荷がかかっていることがあります。自分にとってのストレスが

何なのか、ストレスによって出てくる不調のサイン、自分に合った解消方法を知ることが大切です。自分のこころの声に耳を傾けながらストレスと上手に付き合ってください。

保健福祉課

相談窓口	相談内容	電話番号	時間
高知県精神保健福祉センター	心の健康相談	088-821-4966	月曜～金曜 (8:30～17:15)
	心のテレ相談	088-823-0600 (相談専用電話)	月曜～金曜 (13:00～15:00)
高知いのちの電話	自殺予防のための電話相談	088-824-6300	毎日 (9:00～21:00)
高知県立消費生活センター	消費生活相談全般 多重債務の相談	088-824-0999	日曜～金曜 (9:00～16:45)
働く人の悩みホットライン	働く上での様々な 悩みの電話相談	03-5772-2183	月曜～土曜 (15:00～20:00)
心の教育センター	不登校やいじめ、子どもの 教育に関する相談	088-866-0901	日曜～金曜 (9:00～17:00)
24時間子ども SOSダイヤル	子どもや保護者のいじめや その他の悩み相談	0120-0-78310	24時間対応可能
梶原町保健福祉課	生活での様々な相談	0889-65-1170	月曜～金曜 8:30～17:15

在宅生活おうえん事業補助金



在宅生活おうえんチケット・
思いやり家庭支援金

町では、在宅で暮らしている高齢者や障がい児(者)の生活を応援し、要介護状態への進行防止や自立生活の継続助長を図ることを目的として、補助を行っています。

①住宅改修

材料費の90%を助成

≪ 限度額63,000円

※材料費のみが補助対象ですので、工賃等は含みません。

②福祉用具

90%助成

≪ 限度額27,000円

■対象者

町内在住の65歳以上の高齢者及び障がい児(者)。ただし、要介護・要支援認定を受けている方については、介護保険サービスの住宅改修及び福祉用具購入を優先し、障がい児(者)については、障害福祉サービスが優先されます。

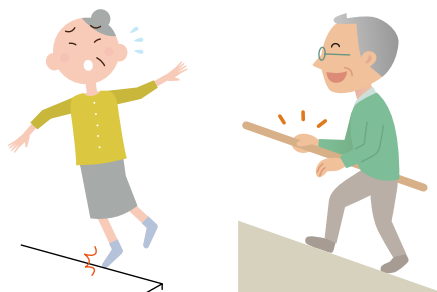
■補助内容

①と②それぞれ利用できます。

いずれも対象者1人につき、生涯にわたって、限度額まで補助金を交付します。

※1回の交付で限度額まで補助金を使い切らなかった場合は、2回目以降も残額を限度に交付申請が可能です。

住宅改修の例



■ 手すりの取付け
■ 段差解消 など

福祉用具の例



■ ポータブルトイレ
■ 段差解消
■ 入浴用イス
■ ベッド手すり
■ 歩行器 など

申請の希望をされる方は、住宅改修の工事内容や福祉用具の種類によっては補助対象外となる事があるため、工事及び購入前にご相談ください。

※申請には、工事前・後の写真や、材料代等や購入用具の領収書が必要です。

【問合せ先】

保健福祉課 福祉係

☎ 65・1170

町では、在宅で介護をされているご家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図り、在宅での生活環境を整えらるとともに、介護される方の在宅生活の継続と福祉の向上を図ることを目的とする支援を行っています。

【対象者】

梶原町に住所を有し、以下のいずれかに該当する方を在宅で介護されている方

- ・ 要介護3以上の方
- ・ 要介護2でも認知症の症状が重い方は対象となる場合があります。
- ・ 障害支援区分4以上の方

【事業内容】

- ①在宅生活おうえんチケット月に5日分まで、サービス(デイサービス・ショートステイ)の利用者負担分を助成します。
 - ②思いやり家庭支援金月額1万円を支給します。
- ※所得制限があります。

【問合せ先】

保健福祉課 福祉係

☎ 65・1170

雲の上のいきいきチケットについて

令和3年度 令和3年4月～令和4年3月



タクシーを利用する際に初乗運賃分を助成するチケットです



満75歳以上の方で自動車運転免許証を持っていない方。その他、下記の方が対象となります

対象者について

梶原町に住所があり、自動車運転免許証を持っていない、下記のいずれかに該当する方が対象となります。

- 満75歳以上の方
- 身体障害者手帳1級、2級、3級の方
- 療育手帳もしくは精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
※免許を持っていても、今後運転しないことを誓約した書類を提出することにより、対象となります。



チケットの交付を受けるには、申請が必要です。

※令和2年度チケットの交付を受けた方には申請書をお送りしています。

詳しくは、保健福祉課 福祉係 にお問い合わせください。

☎ 65-1170

40歳代支援をはじめました!

若者サポートステーションでは、修学支援・就労支援を行っています。これまで39歳までの支援でしたが、今年度から49歳まで広げました! 働くことに不安を感じ、一歩が踏み出せず戸惑っている概ね15歳から49歳までの方及びそのご家族を対象とした「こうち若者サポートステーション」による出張相談会の開催についてお知らせします。

「働きたいけど、できるかな…」 「自分に合った仕事が見つからない…」 「履歴書の書き方や面接の仕方を教えてほしい…」 「今まで働いたことがなく自信がない…」 「高卒資格を取得したい…」 など、お気軽にご相談ください。

出張相談会

日時 令和3年3月9日(火) 午前10時から正午まで **場所** ゆすはら 夢・未来館 1階会議室

対象 働くことに不安を感じ、一歩が踏み出せず戸惑っている概ね15歳から49歳までの方及びそのご家族 (※事前の申込みは不要で、相談料は無料です。)

問合せ先 こうち若者サポートステーション **☎ 088-844-3411** 10:00～17:00 (日曜、月曜、祝日は休み)

高知県立高知城歴史博物館 催し物のお知らせ

企画展 知られざる城博コレクション～寄贈・寄託の世界～

開催期間 令和3年1月1日～3月8日

城博では、土佐藩主山内家に伝わった資料の他にも県内外から寄贈・寄託された土佐藩・高知県ゆかりの資料を数多く収集しています。多彩な資料を通して土佐の歴史と文化を新発見! 初公開資料も盛りだくさんの展覧会です。



「知られざる城博コレクション」
写真：藤原山鏡光香画

展示情報 大名道具と土佐の文化 (第5期) 特集コーナー「発見! つるかめ」

● 総合展示室II 開催期間: 令和3年1月19日(金)～3月29日(月)まで

甲冑・刀剣・茶道具を始め、江戸時代の土佐の美術と文化を紹介する本展示室では、鶴亀モチーフの美術品も特集。長寿や夫婦円満の象徴とされ、床の間から戰場まで、ありとあらゆる所に登場する鶴亀をお楽しみ下さい。

- 開館時間 9時～18時 (日曜日は8時開館) ※展示室への入室は閉館30分前まで
- 展示観覧料 700円 (高校生以下、県内65歳以上の方は無料)、高知城とのセット券900円
- 会場/お問い合わせ 高知県立高知城歴史博物館 電話 088-871-1600 | <https://www.kochi-johaku.jp/>

休館日なし

高知城歴史博物館 検索

税務署の確定申告会場にお越しになる方へ

感染リスク軽減のための対応

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するため、ご自宅から申告できる e-Tax をぜひご利用ください。詳しくは国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」をご覧ください。

確定申告会場への入場には、「入場整理券」が必要です

令和 2 年分確定申告については、確定申告会場の混雑緩和を図るため、確定申告会場への入場には、入場できる時間枠が指定された「入場整理券」が必要となります。「入場整理券」は、会場で当日配付又はオンラインで事前発行します。

オンラインで
事前発行の場合



LINE アプリで国税庁公式アカウントを友だち追加してください。

友だち追加はこちらから！

なお、当日配付の「入場整理券」については、配付状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。受付終了時刻よりも前に配付が終了した場合は、国税庁HPでお知らせします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

● 申告会場の開設は 2 月 16 日 (火) からです！

● 所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告と納税は
4 月 15 日 (木) まで

● 個人事業者の消費税及び地方消費税の申告と納税は
4 月 15 日 (木) まで

確定申告会場における感染防止対策について

～確定申告会場にお越しになる方へのお願い～



・入場時の検温の実施

確定申告会場への入場時に検温を実施します。37.5 度以上の発熱がある場合等は、入場をお断りさせていただきます。

発熱等の症状がある方や体調のすぐれない方は、無理をせずに、後日あらためて来場していただくようお願いします。

・マスクの着用、手指消毒のお願い

会場ではマスクを常時着用していただき、会場入口等で手指消毒をお願いします。

・少人数での来場

会場には、申告される方おひとりでお越しください。

介助を要する等の理由で複数名でお越しになる場合においても、必要最小限の人数でお越しください。

税務署での対策のご紹介

- ・ソーシャル・ディスタンスを確保した会場レイアウトを採用します。
- ・こまめな換気・消毒を実施し、会場内には手指消毒液を設置します。
- ・職員は、マスク・フェイスシールドを着用して対応し、日々の体調管理を徹底します。



被災宅地危険度判定 **ご存じですか？被災宅地危険度判定** (熊本地震では、約 19,000 件の判定が行われました)

被災宅地危険度判定とは、大規模な地震や大雨などで、宅地が大規模かつ広範囲に被災を受けた場合に、宅地の被害状況を迅速かつ的確に把握したうえで危険度を判定し、住民の皆様へ情報提供を行うことにより、二次被害の軽減・防止を図ろうとするものです。

平成 28 年の熊本地震の際には、本県の被災宅地危険度判定士延べ 135 名が被災市町村（熊本市、益城町、南阿蘇村など）を支援するために、現地へ派遣されました。

被災宅地危険度判定の結果は、下記の 3 種類の判定ステッカーを見やすい場所に表示し、当該宅地の使用者・居住者だけでなく、宅地の付近を通行する歩行者に対しても安全であるかどうかを識別できるようにします。

判定結果は 3 種類のステッカーを現地の見やすい場所に貼り付けて表示します。
ステッカーはそれぞれ A 3 サイズです。



この宅地に立ち入ることは危険です

この宅地に入る場合は十分に注意してください

この宅地の被災程度は小さいと考えられます

判定ステッカーには、判定結果に基づく対処方法についての簡単な説明や二次災害防止のための処置についても明示します。また、判定結果についての問い合わせ先もステッカーに表示しています。

なお、判定は造成された宅地について擁壁や斜面等の確認を行うもので、建築物について確認を行う被災建築物応急危険度判定（下記）とは異なります。

被災建築物応急危険度判定 **ご存じですか？被災建築物応急危険度判定**

地震で被災した建物について、余震で倒壊するなどの危険性があるかどうかを判定して表示を行うものです。国や地方公共団体、建築関係団体などが連携し、被災地域に判定士を派遣して行います。

大きな地震が起きると建物は少なからずダメージを受け、倒壊は免れていても地震に対する強さが弱まっている可能性があります。大きな地震の後には数回の余震が予想されますが、弱くなった建物は、余震によって倒壊したり部材が落下したりして人的被害を起こしかねません。このため、被災者がそのまま家にいていいのか、避難所に避難した方がいいのかなどを判断するために、救命・救急・消防活動と並行してできるだけ速やかに応急危険度判定を行う必要があります。

なお、地震発生後の建物の判定には次のようなものもあります。これらは判定の目的や基準がそれぞれ異なります。

●**住家被害認定**

「り災証明書」を発行する目的で被害程度を認定するもの

●**被災度区分判定**

建物の復旧対策を検討する目的で応急危険度判定後に建物の被災度を詳細に判定するもの

それぞれの目的をご理解いただき、判定のための調査の際にはご協力くださいますようお願いいたします。

判定結果は 3 種類のステッカーを建物の出入口などに貼り付けて表示します。
ステッカーはそれぞれ A 3 サイズです。



この建物は使用可能です

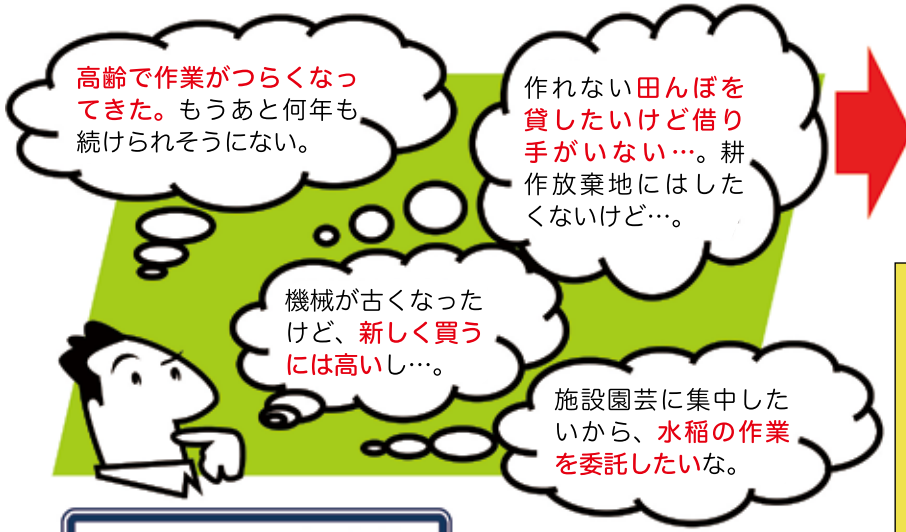
この建物に立ち入る場合は十分に注意してください

この建物に立ち入ることは危険です

(問合せ先) 総務課 総務危機管理係 ☎65-1111 FAX 40-2010

「地域のこと、集落のこと」みんなで考えていきましょう！

最近、こんな声、聞こえてきませんか？



- ・地域ぐるみで話す機会がありますか？
- ・集落が活性化するためには何が必要ですか？

地域（集落）のことを
地域（集落）の皆で
考える

↓

「集落営農」の取り組み

集落営農とは？

「集落営農」とは個人では解決できない地域農業の問題を「集落のみんなで話しあい」、「共に考え」、農地や農業、地域の維持発展を目指す活動です！

「集落営農組織」とは、集落ぐるみの活動で農地を守り、活用する地域の担い手です。

農業者の高齢化・後継者不足・耕作放棄地の増加・農業機械の問題など、地域の困ったことを集落で話しあい、みんなで解決策を見つけましょう！



考えるキッカケは、みんなでつくる！

梶原町は、他の地域と同じく、耕作者の高齢化や担い手不足などの課題があります。その中で、この地域（集落）で10年、20年後でも、農地を守り、農業が継続できるような仕組みを考えることが、今、必要となっています。

「誰かがやるだろう」では、誰もやってくれません。自分たちの地域（集落）を、どういうふうを守っていくのか、今からでも遅くはありません。話しあってみませんか。

集落営農について興味がある方は、
須崎農業振興センターまでご連絡ください。

須崎農業振興センター—農業改良普及課
☎ 0889-42-3255

新型コロナウイルス感染症 引き続き注意！



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発令され、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県では1月8日から2月7日まで、栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県は1月14日から2月7日まで緊急事態措置が実施されることとなり、感染状況が改善された栃木県を除く10都府県では、さらに3月7日まで期間が延長されることになりました。

高知県内では、12月に感染者の急増により、医療体制がひっ迫するなどし、対応の目安が特別警戒(赤)に引き上げられました。飲食店に対して営業時間短縮の協力依頼や、会食時の目安として4人以内のグループで2時間以内に切り上げることなどが知事から呼びかけられ、新年に入り感染確認が減少傾向となり、1月22日に対応の目安が警戒(オレンジ)に引き下げられました。

しかしながら、まだまだ油断で

きる状況ではなく、須崎福祉保健所管内での感染も確認されるなど、いつ、どこで、誰が感染してもおかしくありません。

感染された方をはじめ、そのご家族や同僚、友人、医療機関関係者の方々に対しての誹謗中傷や差別は決して許されるものではありません。

感染のリスクは誰にもあります。その中で、感染症のまん延を防ぐには、一人ひとりがお互いを思いやる気持ちをもって冷静に行動することが何よりも大事です。

町民の皆様におかれましては、これまでも実践いただいているマスクの着用、手洗いや手指消毒の徹底、3密の回避など基本的な感染予防対策を確実に継続していただきますようお願いいたします。

町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

梶原町新型コロナウイルス感染症対策本部

放送大学 入学生募集のお知らせ

放送大学は、4月入学生を募集しています。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学高知学習センター(☎088-843-4864)までご請求下さい。

※出願期間は、第1回は2月28日まで、第2回は3月16日まで。



スポーツ安全保険

文化活動も
加入出来ます

対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**
保 険 期 間 令和3年4月1日の午前0時から令和4年3月31日午後12時まで



公益財団法人 **スポーツ安全協会 高知県支部**

TEL **088-820-1755** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。

スポーツ安全保険

検索

3月の行事予定

1日(月)	春の火災予防運動(7日まで) アメゴ解禁 梶原高校卒業証書授与式	19日(金)	梶原高校修了式
12日(金)	梶原学園9年生卒業証書授与式	20日(土)	梶原町交通安全の日
13日(土)	環境整備デー	22日(月)	梶原学園6年生卒業証書授与式
15日(月)	所得申告受付終了	23日(火)	梶原学園修了式
		24日(水)	梶原こども園卒園式

3月の保健福祉課行事予定

1日(月)	げらげら家族会	12日(金)	東区いきいき
2日(火)	西区いきいき(上成)	13日(土)	12期生健康文化の里づくり推進員全体会
3日(水)	松原サテライト	16日(火)	小児健診(半日)
4日(木)	四万川宅老	18日(木)	献血(終日・役場) 四万川いきいき
5日(金)	初瀬いきいき	23日(火)	西区いきいき(広野)
9日(火)	小児健診(終日)	25日(木)	四万川宅老
10日(水)	あゆみの会	26日(金)	大向宅老
11日(木)	越知面デイサービス		

毎週月曜日 育児サークル(図書館内子育てコーナー)午前10時～

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

毎週水曜日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

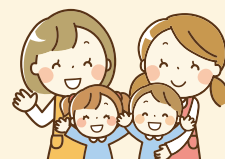
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 2日(火)半日、16日(火)半日、23日(火)終日、30日(火)半日

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 22日(月)、23日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

●おめでた

住 所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者
川 口	前田伊智子	女	R2.11.25	前田 悟志
大 蔵 谷	前田 虎珀	男	R3.1.10	前田 舞子
竹 の 藪	西村 柚希	女	R3.1.12	西村 勇人

●おくやみ

住 所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
初瀬本村	大下 俊秀	男	R2.12.8	68	本 人
松 原	久岡 亀一	男	R2.12.18	90	本 人
佐 渡	竹内ユキ子	女	R2.12.20	90	本 人
大 向	村田 静子	女	R2.12.23	91	本 人
川 井	中平 政子	女	R2.12.28	88	中平一市
大 蔵 谷	熊谷 知子	女	R 3.1.3	64	熊谷三郎
神在居	大下 英仁	男	R 3.1.6	73	本 人
北 町	松本 義紀	男	R3.1.13	93	本 人
東 町	泉 テルコ	女	R3.1.14	96	本 人
後別当	西村 清美	女	R3.1.18	103	西村 優
本も谷	伊藤 一一	男	R3.1.22	90	本 人
東 川	吉岡 光子	女	R3.1.28	95	吉岡英雄

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています

●ご結婚

届出時の住所	夫婦氏名	婚 姻 日
六 丁	中越天駆野	R2.12.12
六 丁	梶原 凜香	
太 田 戸	中越 健也	R3.1.15
津 野 町	福岡 安奈	
大 蔵 谷	大原 拓馬	R3.1.16
四万十市	山岡 憂	

受け継ごう
しま

四島への想い われわれで

北方領土問題の一日も早い解決には
国民一人ひとりの理解と
返還への粘り強い活動が大切です

北方領土返還要求運動高知県民会
〒780-0870 高知市本町1-6-24 高知商工会議所内
Tel.088-875-1170 e-mail soumu@cciwweb.or.jp

北方領土イメージキャラクター
エリカちゃん

文芸

烏帽子俳句会

ぼたん雪門灯うるむ駐在所
宇都宮由利子

初春やパトカー音を消して過ぐ
中越 律子

寒椿一輪活けて利休さま
岩元 美美

生きること何か脱ぐこと老の春
瀬戸口登貴恵

孫に着す娘の振袖よ家の春
西村 智子

一軒家誰にも会わず年の暮
温地あゆみ

三日はや粥となりたる夕餉かな
古野 節子

寒椿留守がちの家の紅冴えて
下元 澄子

寒椿知らぬ間に老いてをり
ヒネ・バンビ

着ぶくれて愚図ぐず今日の暮れてゆく
千光寺昭子

老父母の大声ひびく初電話
宮崎真由子

しろがねの光り放ちし懸け大根
岩井 章子

杉の子俳句会

男らのダルマストーブ酒談義
久岡 智子

朝刊の紙面刷新読初め
下元 廣幸

木端飛ぶこけし工房垂り雪
内野 純子

投句する切手に雪の結晶図
川田 早苗

双六のあがり遠のく「振り出しへ」
西村 幸枝

凧にこま全部手作り昭和の子
大崎みなと

やんちゃ子がコマを廻せばクラス一
影浦 鉄心

凧揚げの親子三人土佐の海
掛橋 初子

添え書きはコロナコロナの賀状かな
氏原 陽子

むくろじに羽根をつけるも自分技
西村 蓉子

賑わいに静けさもありお正月
野中 胤雄

春一番無病息災神頼み
明神伊佐子



柚子の木俳句会

冬うらら夫の主治医のあたたかき
西村由利子

茶の間へとぬくもりからめ日脚伸ぶ
西森 誠子

年明けに同期の訃報きく夜かな
中平 忠雄

去年今年女の勤が冴える時
中越 郁子

『辛抱』と墨蹟のある新曆
渡辺 瑞枝

雪の日はコタツで夫と見合なり
中越 秋子

深雪の跡踏み違え千鳥足
吉田 敬子

しろくまも転居躊躇う四万川よ
広瀬 卓雄

川柳

新年を 明るい夢で 残り日を
はみ桶を 牛角こづく 雪の朝
西村 美子 (二句掲載)

「孤独相」先は総理の支援から
河野 哲夫

狂歌

躍り出て舞もまわずに三ヶ月
次は誰かと活字が踊る
(筒袖の舞)
河野 哲夫

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【広報へのご寄付】

問宮 千代子様 (神奈川県)
加藤 朝弘様 (愛知県)
安田 文明様 (佐川町)

【ふるさとづくり寄付金】

武部 冴香様 (和歌山県)
日野 量太様 (愛媛県)
小笠原 三代子様 (愛知県)
粕谷 亮太郎様 (埼玉県)
粕谷 昌彦様 (埼玉県)
二瓶 章様 (埼玉県)
篠原 克寿様 (東京都)
高橋 周一様 (東京都)
影山 良介様 (東京都)
下土居 里夏様 (東京都)
山田 誠一郎様 (東京都)

【その他のご寄付】

隅田 速雄様 (奈良県)
(町勢発展へ)
川上 博史様 (田野々)
故・川上卓氏逝去に伴う香典返し (森林づくりへ)
熊谷 三郎様 (大蔵谷)
故・熊谷知子氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)
西村 優様 (後別当)
故・西村清美氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)



ゆすはら未来大使に「Tsukusiya」横矢 和子氏

昨年12月23日(水)、横矢和子氏に、ゆすはら未来大使を委嘱しました。

ゆすはら未来大使は、本町にゆかりや愛着のある方々に、国内外で本町のPR情報の発信やまちづくりへのアドバイス等をいただき、本町の認知度を高め、交流人口や定住人口の拡大を図ることで持続可能なまちづくりにつなげることを目的としています。

現在まで39名の方にゆすはら未来大使の委嘱を行い、世界の人々とながら支持され選ばれる社会の実現に向け、それぞれが幅広い分野で活動しています。

この度、ゆすはら未来大使を委嘱した横矢和子氏はドイツのベルリンで日本料理店(Tsukusiya)の経営に携わり、高知県の食材を使用した料理の提供や、日本の文化をPRする取組みをされています。

本町へ平成16年に訪れた際に、地域の方の温かさや魅力にひかれたことをきっかけに、パンフレット等を店内に置いたり、ドイツから観光客を本町に連れてきたりと精力的に情

報発信にご協力いただき、今回の委嘱となりました。今後ご指導ご鞭撻をいただきとともに、海外に向けての梶原町の情報や魅力の発信を引き続きお願いしています。

まちづくり推進課



委嘱式の様子

編集後記

外出にはマスクを手放せない生活が始まって、早くも1年が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症は、最初は豪華客船クルーズでの遠い話でしたが、あっという間に身近なものとなってしまいました。手作りの布マスクも一気に広まりました。

アニメ映画「風の谷のナウシカ」では、登場人物が様々な形のマスクをつけて登場します。歌舞伎にもなったのを機に、原作漫画をゆすはら雲の上の図書館から借りて読み返してみました。

作品の中のマスクは、腐海という場所から出る瘴気という猛毒を吸い込まないためにつけるものとされています。

一方、今の私たちがつけるマスクは、症状が無くても、自分から他の人にウイルスを感染させる可能性を低くする目的が大きな目的です。私達自身がウイルスを運んでいるかもしれない、という怖さが常につきまっています。

100年先には、もっと最適な感染防止策が見つかっており、マスクなどは過去の遺物になっているかもしれません。今を生きる私達には、まだそれは分かりません。現在進んでいる研究を頼りに、より確かと思える対応、自分たちができる対応をして乗り切っていくしかありません。

新型コロナウイルスの由来はまだはっきりしませんが、野生動物からの可能性があるとのこと。経済発展の名の下に、自然環境に手を加える際は、自然への敬意と配慮が必須であることを忘れてはいけません。

(広報編集委員会)